

ウィズ Weeds

〒862

熊本県熊本市保田窪本町5-29

TEL・FAX共通

096-382-0861

宮部修一さんの 生活保護打ち切りに思うこと

澤田 新一

宮部修一さんの生活保護打ち切りについては、各マスコミが報じていますが、はたして、保護を打ち切られることがどういうことなのか、このところがあまり書かれてないから、生活保護で大学院に行くいう、誤ったとらえ方をされているのではと思います。実際には、学費は大学側でみられるわけで保護費は今までどおり生活費や、介護費に使うわけで、進学するから金を出してくれと行っているのではないのです。

これまで数回、行政との話し合いがもたれましたが行政は、「生活保護法では専門学校は認められているが、大学院進学は認められて以内から打ち切る。就職活動をしたらどうか」と言うばかりでした。現在の社会で重度の障害で職につこうとしても不可能だけれども、大学院をでることで、わずかながらでも道が開ける。なのに、保護を打ち切った行政は、前にものべましたが、宮部さんの場合、保護費の大半が介護料なのです。つまり、生活保護を打ち切るということは、宮部さんに「死ね」と言っているのと同じことなのです。法の中で専門学校は認められているのならば、宮部さんが目指している「専門知識を大学院で学ぶ」と、解釈できるのではないのでしょうか、いろいろなことを応援するのが行政の役目なのに、ただ「日の丸のマニュアルで認められていないから、うち切ります。」には、ものすごく腹が立ちます。

労働センターとの交流会報告

共生社生協運動委員

日時：1994. 3. 24 11:00～15:00

I 自己紹介／バックトゥーザ・フューチャー

IV ご両親の気持ち

II 牛乳パックの積み込み作業

V 将来の夢について

III これから考えていること（取り組み）

VI 感想（個人的に）

I 自己紹介／バックトゥーザ・フューチャー

（1）委員長のあいさつの後参加者メンバー全員による自己紹介を行いました。皆、ユーモアを交えて時間を忘れるほど楽しい一時を過ごすことができました。

（2）自己紹介終了後、労働センタースライド「バックトゥーザ・フューチャー」の読み合わせがあり、これまでのセンターの歴史と一日の流れや皆の思い将来の夢等わかりやすく紹介してありとても良かったなと思います。一つ残念なことは読み合わせではなく、実際にスライド上映して欲しかったと思います。

（3）又、その中で出た意見として黄色いハンカチというのがあるが、それを使用したらどうかという意見がありましたが、あるのはあるが使用したくない、自分の言葉で伝えコミュニケーションを作っていきたいという事でした。

（4）二つ日の意見として、障害者と健常者双方に遠慮があるのではないかと言う事に対しては、それは双方にあると思います。この交流会を機に双方が遠慮なく、何かをして欲しい時も、何々をしてあげる時も、遠慮なく言い合う事で意見が一致しました。この交流会で双方が一步近づいたことは、とても良かったなと思います。

II 牛乳パックの積み込み作業

（1）1時過ぎに福陽製紙よりトラックが横付けになり、参加者全員で積み込み作業を体験しました。又、この日はいつもより少ないとのことでこれを小人数でやるとしたらとても大変だなと思いました。

※毎週木曜日に積み込みがあります。暇な方は是非センターへ足を運びましょう。

（2）パックの回収をしていく中で、国、県、市より助成金が貰えるようになったことと、24時間テレビで紙すきをした年にはリフトバスが贈呈になり、それにより活動の幅が広がり、今ではセンターになくてはならない足になっているそうです。又、昨年2月には熊本県リサイクル推進大会で県知事より表彰状が送られ、これまで行ってきたことが社会で認められたことは大きな自信になったそうです。

III これから考えていること（取り組み）

（1）7月16日に県立劇場で第二回「ハートフルムービー」の開催が予定されており、それに向けて現在よい企画を皆で思案中と言う事です。これからは「ハートフルムービー」を年に一度定例かしていられるそうです。又、昨年は生協の模様しとかさなりチケット販売に苦労したので、今年は早めに案内したいと言う事です。

（2）紙すきセットの販売

今後月に100セット取扱いができるようになった。1個1000円で販売を予定されています。現在は紙すきで、はがきだけではなく丸形やハート型や名刺型に色をつけて作っており今後は

センターでしか出せない色を出していきたいということです。丸形やハート型については和菓子などの進物用の箱にのいるメッセージカードとして販売したいとの事です。大変いいアイデアだと思います。菓子メーカーと契約ができればかなりの利益になるものと思われます。

Ⅳ ご両親の気持ち

センターへ来たいきさつとセンターで働くことについて、ご両親はどのように思われているか？。

（１）センターに来たいきさつについては、施設にいるときから時々センターへ働きにきていた人、もめ事を起こして来た人、いじめにあい先生に励まされて来た人とそれぞれちがうものの、地域で自立して働きたい思いは皆同じでその思いは私たちよりも強いように思われました。

（２）又、ご両親の思いについては皆同じでセンターで働いていても食事のこと、お風呂のこと、ボランティアのこと等大変心配されているようです。

（３）ご両親の思いは現在でも施設に入れた方が安心だと考えている方もいられるようです。そんな心配をこれから先少しでもなくしていくよう一歩でも二歩でもセンターが大きくなり安定した収入が得られ本当の意味で自立していくよう頑張っていってほしいと思いました。

Ⅴ 将来の夢について

個人的に将来の夢について語ってもらった。

倉田くん 店舗ワーカーズ等次分たちを雇ってくれる会社を自分たちで作る

人江くん とりあえず今の仕事を精一杯やりたい。

緒方くん センターにとどまらず就職を希望している。家族をもちたいそのためにも就職して食べていけるだけの収入を得たい。

澤田くん お金をためて旅行をしたい

吉村さん センターにとどまらず外で活動したい。

野口さん 現在結婚は考えていないが将来的には結婚したい。結婚してもセンターには顔を出したい。

（１）皆に共通して言える事は、障害があると言うことで内にとどまらず積極的に外へ出て活動したいと言う事です。

（２）私たちもこのパワーに負けないように、将来に夢と、希望をもっていきたいと思いました。

Ⅵ 感想（個人的に）

（１）初めての交流会にしては、とてもスムーズに行き大変良かったなと思います。

（２）今後交流会を重ねていく上では、たんにおしゃべりするだけの交流会ではなく実際に牛乳パックの整理作業や紙すきなどをやりもっともっと幅の広い交流会にしていく必要があると考えます。

（３）障害を抱えているのにもかかわらず、皆の明るさには驚きを覚えると共に感動すら感じました。私たちの小さな悩みなどどこかへいってしまったようにおもいます。

（４）ボランティアの方々の苦労や喜びや様々な悩み等実際に見て聞いたことは、これから先私にとって必ずプラスになるものと思います。

入院生活Part2

私は今 私は今、病院生活を送っています。病院はK病院です。早いもので入院して1ヵ月が過ぎました。今回の入院も昨年同様『アルコール依存症』でです。昨年の入院した時は、身体的・精神的にかなりダウンしての入院でしたので物凄くきつかったのですが、今回は身体的には何処にも異常はなかったのですが精神的にダウンしてしまい、自分でも訳が分からなくなりどうする事もできなくなっていた状態でした。今は、精神的にかなり落ち着きを取り戻し以前のように元気？になりました。そしてまた、『アルコール依存症』について学習中です。昨年は、テキストを中心とした学習だったので、あまり人の話を聞く余裕がなく、ただひたすら写本をしたり論文を書いたりしていました。勿論、その間に院内合同例会には毎週出席していましたが、それ以外の例会には全く出席していなかったため退院者の『生の声』を聞くこともなく、退院してしまいました。退院後は水前寺の『中川例会』に行っていました。でも私にはムイてはいなかったようです。その後、くわみず病院の先生と色々話をして『くわみずAA』を紹介してもらい、参加するようになりました。最初、『AA』に参加する事に抵抗はありました。また『AA』の意味も知らず参加していましたが、最近になって少しづつボチボチと分かりつつありま

す。断酒会は何となく堅く感じ頭から押さえ付けられているように感じていましたが、『AA』は和らいでいて、気軽に話ができる雰囲気でした。それから『AA』に参加するようになりました。

現在は、『院内AA』が週に2回行われていて100%の出席率ではありませんが、出来るだけ参加しています。その他、『院内合同ミーティング』が毎週1回開かれています。他に院外の例会やAAに参加するようになりました。それで酒害者（私も含めて）の『生の声』を聞くことによって改めて『アルコール依存症』がどんなに恐ろしい病気かを知ることができました。だからと言って好きなものを止めろと言ってもそう簡単には止められるわけがありません。1回の入院でアルコールを止められる人は100人の内一人いるかどうかという数字も出ています。ほとんどの人がスリップして何度も入退院の繰り返しをしてゆっくりと時間を掛けて止めていくそうです。先日、主治医の回診があり退院の事を口にしたら、「あせるといけない」と言われました。私は本当は早く皆の元へ帰りたいのですが、なかなか思うようにはいきません。退院のめどもついていない状態です。だから、開き直って退院の日が来るまでみっちり勉強してみようと思っています。

『アルコール依存症』は回復はあっても治癒のない病気だと言われています。この病気は進行性で長い時間を掛けてゆっくりと身体を滅ぼしていくの

です。特効薬もなく医者も治す事は出来ません。ただ一人治せる人がいます。その人は、酒害者本人です。そして自助グループの仲間達です。だから私も今はAAの基礎となる本を探して購入し（定価¥3500-）AAの方に力を入れています。

ここでAAとは何かについて少しばかり書いてみます。AA=アルコールiks・アノニマスの頭文字です。日本語に直訳すれば『無名のアルコール依存症者達』の事です。AAは、経験と力と希望を分かち合って共通の問題を解決し、他の人々もアルコールリズムから回復するように手助けしたい、という男女の仲間の集まりであります。このグループのメンバーに要求される事は酒を止めたいという願望だけ

で、会費も月謝もありません。すべて自分達の献金だけで自立しているのであります。そして、ミーティングの時も決して本名を言わずにAAネームで話し合います。ミーティング中に人の話に意見・反対する事はしないで聞く。その場で話された事はその場に置いて行く。持ち帰りたい事は持ち帰る。そして、名前も社会的地位も名誉も公にしないと言う事がAAの約束事です。それで私も今、AAで頑張っています。

少々AAの事を書きましたが、まだまだ奥深いものがあります。これからもっと勉強していきたいと思います。

では、今回はこの辺で終りにします。

アルコール依存症の『ヘイタ』より

シリーズその六

アルコール依存症を知る

アルコールがひきおこす身体の病気

長期にわたって大量に飲酒していると、それがもとで、様々な体の病気を併発する。

身体障害を起こす原因は、二つある。一つは、アルコールの臓器毒性であり、もう一つは栄養障害である。

大量のアルコールは、全身の臓器を痛めつける。また、アルコール依存症になると、食事を取らないで飲み続けることが多く、栄養の摂取が十分でなくなる。たとえ十分な食事をしていたとしても、多量のアルコールのために吸収不良を起こす事が多い。これらのことから、栄養が不足しやすいのである。

以下、アルコール依存症が原因で起こる身体疾患について述べてみたい。

1 肝障害

アルコールによる肝障害は、脂肪肝・アルコール肝炎・肝硬変というふうに変化していく。

『脂肪肝』は、肝細胞内に脂肪がたまり、肝臓が腫大している状態で、断酒することによってよく治る。『アルコール肝炎』は、肝細胞が変性、壊死を起こし、肝腫大、黄疸、食欲不振、悪心、嘔吐、全身倦怠感などが生じ、時には死亡することがある。

『肝硬変』は肝障害の終着駅と言われている疾患である。肝細胞の広汎な壊死が起こり、その代わりに肝臓としての働きをしない結合組織の増生がみられる。肝臓ははじめ腫大し、後には萎縮する。黄疸、脾腫、手拳紅斑、クモ状血管腫、食道静脈瘤、女性様乳房、腹水、浮腫、肝性昏睡など重篤な症状を示し、死亡率の高い病気である。

2 アルコールすい炎

強烈な上腹部痛や背部痛が特徴である。この痛みには鎮痛剤が効かないことが多い。すい臓は萎縮し、拡張したすい管内にはすい石がみられる。糖尿病の原因となる。

3 胃腸障害

〔①急性胃粘膜病変〕アルコールの過飲により胃粘膜に浮腫、びらん、出血を生じ、上腹部痛、吐き気、嘔吐、吐血を起こす。断酒によって数日のうちによくなる。

〔②胃・十二指腸かいよう〕かいようの発生にアルコールが関与するかどうかは分かっていない。だが大量のアルコールはかいようの治療に悪影響を及ぼす事は明らかである。食後や空腹時の腹痛、かいよう部位からの出血がみられる。酷くなると穴があくことがある。

〔③マロリー・ワイズ症候群〕食道下部から胃上部の粘膜に裂創が生じ、大量の吐血をする。大量飲酒の後、吐き気、嘔吐を繰り返して起こす事が多い。〔Ⅱ 吸収不良症候群〕アルコール下過飲者はたとえ十分な食事をしていても、腸管からの吸収不良や下痢などによって、ビタミン不足をはじめとする栄養障害に陥りやすい。

4 アルコール心筋症

長期大量飲酒によって、心臓が肥大して、不整脈、体動時の呼吸困難や動悸、夜間の突発性呼吸困難等がみられる。断酒によって急速によくなるが、末期になると断酒しても回復しない。

5 アルコール・ミオパチー

主として、手足の筋肉がやられる。大量のアルコール摂取後、急激に骨格筋の筋痛、脱力、浮腫、壊死を生じる急性型と、徐々に体幹に近い筋肉の萎縮と脱力が起こってくる慢性型がある。

6 脳神経障害

〔①ウェルニッケ脳炎〕ビタミンB1の欠乏によって起こる。眼球運動障害、歩行

障害、意識障害が主な症状である。しばしばコルサコフ症候群、多発神経炎を合併する。

〔②コルサコフ症候群〕物覚えが酷く悪くなり、最近の事を少しも覚えられない。覚えのない事を聞かれると、作話をして答える。人物、場所、時間の見当がつかなくなる。

〔③アルコール小脳変性症〕小脳虫部のプルキンエ細胞などの神経細胞が脱落する。歩行障害で始まることが多く、眼振、筋緊張低下、言語障害、振戦などが認められる。

〔④多発神経炎〕四肢末端から始まる左右対称性の知覚鈍麻、痛み、しびれ感等が認められ、進行すると運動障害を伴うようになる。

〔⑤アルコール痴呆〕大脳が萎縮することにより、知能低下、人格変化などを起こす。進行すると社会生活は不可能になる。

次号につづく

共生社の皆さんとの花見をしての感想

市瀬 恵

4月9日土曜日のお昼1時～4時30分すぎまで、中央街の白川の土手で花見をしました。

その時は、だいぶん桜はちりかけていたけど、楽しかったです。久しぶりに共生社の人達に会えたので嬉しかったです。

最初は自分から自己紹介で次に労働センターの一人一人が自己紹介しました。

次にのみ方に入りましたが、私はまだ未成年だから花見の時はジュースを飲んでいました。私は支部の人達からジュースをついでもらったので嬉しかったです。その後ジュースをのみあげたので一人で座っていたら共生社本部の神代さんが私に「おいでよ」と言われたので共生社のみなさんたちのところへ行きました。

最後になりましたが、4月9日の土曜日はありがとうございました。
お疲れさまでした。

自己紹介

氏 名：千賀崎 和世

生年月日：昭和45年4月3日 年齢24才

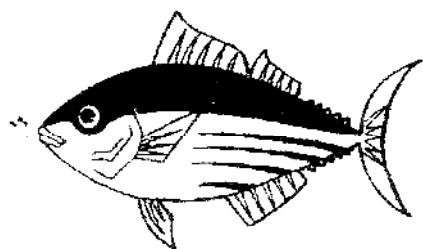
3月23日より労働センターに入りました。労働センターに来て楽しいです。これからも頑張りますのでよろしくお願いします。

4月の日報から

4月1日	バック開き 紙すき(市瀬、野口) アイロンかけ(吉村) ワープロ(緒方、入江)
2日	ワープロ(緒方、入江) 宮部さんの学習会 (沢田、倉田、吉村)
4日	ダンボール回収(北、南支部)
5日	ダンボール回収(平石、野口)
6日	紙すき、ワープロ
7日	積み出し、紙すき
8日	バック開き、紙すき
9日	パートフルムービー会議 花見(1時～3:30)
12日	バック回収(画図小学校) ダンボール回収(北、西、東支部) バリアフリー探検(沢田、吉村)
13日	くまもと生協バック作業
14日	積み出し 市役所交渉(宮部さんの事)
15日	通信発送 販売準備
16日	紙すきセット袋詰め ワープロ(緒方) 商品袋詰め
17日	秋津レークタウン生き生きフェスタ (10:00～15:00まで) アースウィーク(吉村、山田、倉田)
18日	アースウィーク(沢田、倉田)
19日	アースウィーク(吉村、緒方、倉田)
20日	アースウィーク(沢田、入江、倉田)
21日	積み出し アースウィーク(沢田、入江、倉田) バック開き
22日	アースウィーク(沢田、市瀬、野口)
23日	アースウィーク(市瀬、野口)
24日	アースウィーク(市瀬、野口)
25日	ダンボール回収
27日	ダンボール回収(物流センター) バック回収(向山、山ノ内小学校)
28日	積み出し ワープロ(緒方、沢田、入江)
30日	宮部さんの会議(吉村、沢田、倉田) ワープロ(緒方、入江)

4月のバック回収から

4月6日	ヤマギシ	64.9kg
11日	スーパーレットタニダ	39.8kg
12日	画図小学校	119.9kg
13日	ふくし生協	1.2kg
14日	たんぼほの会(川尻小分)	169.5kg
16日	月出小学校	48.5kg
	アンジェンミチコ	4.5kg
	正隆商事	1.7kg
	中通小学校	15.7kg
17日	平島様	0.3kg
18日	下山さん宅	64.3kg
19日	ソロブチミスト	32.9kg
	黒髪六丁内婦人会	19.2kg
20日	帯山小学校	54.4kg
	西原小学校	17.5kg
25日	出水小学校	15.2kg
26日	ヤマギシ	47.6kg
27日	山ノ内小学校	50.4kg
	向山小学校	35.8kg
30日	ふくし生協	6.2kg
	西原中学校	31.7kg
	月まとめ	
	くまもと生協	629.7 kg
	共生社生協	4119kg



編集後記

汗ばむ陽気となりましたがいかがお過ごしですか。先月号でお願いしていましたバック担当の通知が今月いっぱいとなりましたのでご協力よろしくお願いします。また、皆様からの原稿もお待ちしています。

編集長代理 入江 良一